



和敬塾メールマガジン・塾紹介特別号

2024年4月15日 和敬塾事務局



和敬塾の理解を深めて戴くために、和敬塾メールマガジン・塾紹介号を作成しました。

この一年の和敬塾の行事を紹介します！

和敬塾には数多くの行事があり、この内容を中心に紹介する和敬塾メールマガジンを配信しております。

ここ数年はコロナ禍の影響で多くの行事が制約を余儀なくされていましたが、昨年は従来からのほとんどの行事を復活することができました。

今号は昨年1年の主な行事を振り返ると共に、その主な行事を紹介したバックナンバーを紹介させて戴きます。

【2023/4/9:令和5年度入塾式】

4月9日(日)、令和5年度の和敬塾入塾式が学生ホール・大講堂で開催されました。

昨年度の新入塾生は日本人53名、留学生37名で、久しぶりに保護者の方にも参加戴きました。



久しぶりに保護者にも参加戴いた入塾式

【2023/5/14:創立記念塾祭】

5月14日(日)に開催された創立記念塾祭では、4寮代表の留学生の挨拶の後、山極壽一・総合地球環境学研究所長(前・京都大学総長)から、「人間の共同性はどう進化してきたか」というテーマでご講演を戴きました。



塾祭:恒例となった4寮代表の留学生挨拶

【2023/5/27:山の手一周ハイク】

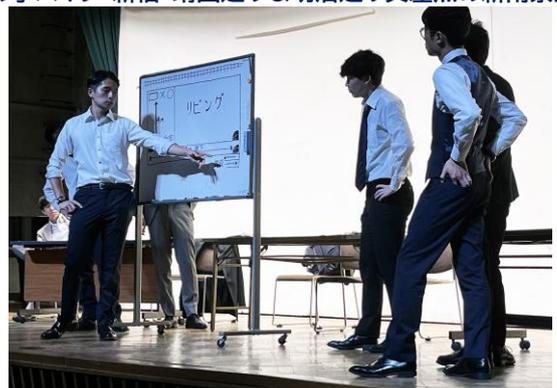
5/27(土)夜~28(日)早朝にかけて、塾生委員会主催の山の手一周ハイクが開催されました。これは新入塾生の歓迎の意義も込めた恒例行事で、この日は月も煌々と輝く絶好の天気にも恵まれ、気温も20℃前後と絶好のハイキング(?)日和となりました。



山の手ハイク:新宿・靖国通り&明治通り交差点の新南寮生

【2023/6/24:演劇祭】

演劇祭は例年5月の塾祭の日に三年生劇(通称:三劇)として開催されて来ましたが、コロナ禍の3年間は開催できず、4年ぶりの開催にこぎつきました。しかし、在塾生の誰もこの三劇を経験したことがなく、手探りの開催となったため、開催日も塾祭から遅れること約6週、出演者も三年生に限定することなく、寮生が一丸となって取り組むことになった為、名称も「和敬塾演劇祭」となりました。



演劇祭:最優秀団体賞の北寮「八人の怒れる男たち」

【2023/7/6:台湾大学生訪日研修団来塾】

第42回台湾大学生訪日研修団一行が7月6日～7日にかけて来塾し、茶道研修や塾生との交流を中心とする一泊二日の研修を行いました。この訪日研修は日本航空と日華青少年交流協会が主催し、1979年から実施しているもので、和敬塾での研修も1989年から行われてきました。しかし、コロナ禍の影響でこの3年間は訪日研修自体が中止となり、4年ぶりの訪日、来塾となったものです。



日華交流:茶道のお点前を受ける台湾訪日研修団メンバー

【2023/9/17:体育祭・騎馬戦】

9月4日(月)から始まった今年の体育祭ですが、17日(日)に3年ぶりの開催となる本祭(騎馬戦)が行われ、4寮総当たりの6試合が行われました。結果は東寮が3戦全勝を飾り、騎馬戦の優勝寮となり、他の多くの種目でも得点を重ね、今年度体育祭の総合優勝を飾りました。



騎馬戦:東寮(緑)大将騎に突っ込む西寮(黒)大将騎

【2023/12/10:予餞会】

卒塾生は年が明けると次の準備のために順次退塾してしまうため、卒塾式は12月に予餞会として開催します。

4寮代表の卒塾生の挨拶の後、元外務次官の藪中三十二先生に「緊迫する国際情勢と日本の針路」というテーマで講演して戴きました。

この日、藪中氏はTBS系のサンデーモーニングに生出演した後、来塾戴きました。



予餞会:答辞の挨拶をする4寮代表の卒塾生

【2024/4/7:令和6年度入塾式】

4月7日(日)、令和6年度の和敬塾入塾式が学生ホール・大講堂で開催されました。

記念講演は塾友で昨年11月まで駐米国全権大使をされていた富田浩司氏にお願いしました。

本年度の新入塾生は日本人56名、留学生35名で、コロナ禍で中止していた昼食パーティーを本館中庭で久しぶりに開催し、楽しいひと時を過ごしました。



久しぶりに本館中庭で開催した昼食パーティー

<文責:佐藤一義(専務理事)>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は下記にお願い致します。
公益財団法人 和敬塾事務局 <juku.jimukyoku@wakei.or.jp>